

東亜ディーケーケー(株)
SDS 番号: C241899-M00151-36
製品名: 硫化物抑制試薬 PP 100 包入

作成日 2008 年 12 月 11 日
改訂日 2025 年 6 月 27 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : 硫化物抑制試薬 PP 100 包入
カタログ No : 241899
品目コード : HACH1078
供給者の会社名称, 住所及び電話番号
東亜ディーケーケー株式会社
東京都新宿区高田馬場 1-29-10
担当部門 : 生産部 HACH 技術課
04-2957-6152
FAX 番号 : 04-2957-9906
推奨用途 : HACH 社計器への使用に限る
使用上の制限 : 推奨用途以外への使用は禁止する

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性 酸化性固体 区分 2
健康有害性 生殖毒性 区分 2
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分 1 (血液)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 区分 1 (血液)

(上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。)

GHS ラベル要素 絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
火災助長のおそれ: 酸化性物質
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
血液の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による血液の障害

注意書き 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
衣類及び可燃物から遠ざけること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察／手当てを受けること。
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。

応急措置

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号: C241899-M00151-36

製品名: 硫化物抑制試薬 PP 100 包入

保管
廃棄

特別な処置が必要である（詳細は、SDS4 項：応急措置を参照のこと）。

火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。

施錠して保管すること。

地方自治体の規制及び環境規制に従って処分する。または都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名	硝酸カリウム	塩基性炭酸銅
含有量	80.0-90.0%	10.0-20.0%
化学式又は構造式	KNO_3	$\text{CuCO}_3 \cdot \text{Cu}(\text{OH})_2$
官報公示整理番号		
化審法	1-449	1-130
安衛法	—	—
CAS No.	7757-79-1	12069-69-1

4. 応急措置

- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移すこと。ばく露またはばく露の懸念がある場合は医師の診断、手当てを受けること。症状が出た場合は直ちに医師の診断、手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合：汚染された衣類や靴はすべて脱ぎ、直ちに大量の水と石鹼で 15 分間以上良く洗うこと。衣類を再使用する場合には洗濯すること。刺激や炎症が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。
- 眼に入った場合：直ちに大量の水で、まぶたの下まで 15 分間以上良く洗うこと。眼を大きく見開いて洗浄すること。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。刺激や炎症が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合：無理に吐かせないこと。水で口をすすいだ後、大量の水を飲ませること。意識がない場合は口から何も与えないこと。医師に連絡すること。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
医師に対する特別な注意事項：症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：水で消火すること。粉末消火剤や泡消火剤は使用しないこと。二酸化炭素やハロンは限定的に火災を抑制する。十分な距離をとって散水すること。安全に対処できるならば火災区域から容器を移動させること。完全に消火するまで容器を水で冷却し続けること。
- 使ってはならない消火剤：粉末消火剤、泡消火剤
- 火災時の特有の危険有害性：本製品は火中にて燃焼を促進する。加熱や燃焼により爆発的に分解する恐れがある。紙、油、衣類などの可燃物に着火する。漏出物が火災や爆発を引き起こす恐れがある。窒素酸化物
- 消火を行う者の保護：消火作業の際は、自給式呼吸器および防護服を着用する。個人用保護具を着用すること。熱にさらされた貨物や車両は動かさないこと。十分な距離をとって、無人注水管やモニター付きノズルなどで散水すること。安全に対処できるならば火災区域から容器を移動させること。火災に巻き込まれたタンクからは離れること。大規模火災で無人注水管やモニター付きノズルが使用できない場合は、鎮火するまで避難すること。

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号: C241899-M00151-36

製品名: 硫化物抑制試薬 PP 100 包入

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 : 適切な換気を行うこと。眼、皮膚、衣類との接触を避けること。漏出区域から離れた風上の安全な場所に退避させること。すべての発火源（フレア、火花や炎など）を取り除くこと。漏出物や破損した容器に触れたり、その上を歩いたりしないこと。安全に対処できるならば漏えいを止めること。指定された個人用保護具を使用すること。容器の中に水を入れないこと。
- 環境に対する注意事項 : 水路、下水、地下、または密閉区域への侵入を防ぐこと。地表水や汚水排出系への流出を防ぐこと。安全に対処できるならば漏えいを止めること。漏出物を排水系に流出させないこと。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 安全に対処できるならば漏えいを止めること。乾いた砂や土などの不活性剤を上からかけてビニールシートでおおい、漏出物の拡散や雨との接触を防ぐこと。不活性吸着剤（砂、シリカゲル、酸結合剤、万能結合剤、おが屑など）で吸収すること。きれいなスコップで乾いた清浄な容器に本製品を入れ蓋をして、漏出区域から移動させること。
- 二次災害の防止策 : 漏出物と漏出場所は環境規制に従い浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 個人用保護具を使用すること。眼、皮膚、衣類との接触を避けること。すべての発火源（フレア、火花や炎など）を取り除くこと。禁煙。局所換気装置を使用すること。本製品を使用する際は、一般的な労働安全衛生上の規則に従うこと。この製品を取り扱う際は、飲食や喫煙をしないこと。汚染された衣類はすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。ミストや蒸気を吸入しないこと。換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
- 技術的対策 : データなし
- 安全取扱注意事項 : データなし
- 接触回避 : データなし
- 保管 : 容器は密栓し、涼しく乾燥した換気の良い場所に保管すること。適切なラベルの貼付された容器に保管すること。可燃性物質から隔離して保管すること。国及び地方自治体等の規制を遵守して保管すること。
- 安全な保管条件 : データなし
- 安全な容器包装材料 : データなし

8. ばく露防止及び保護措置

- 許容濃度 : OSHA PEL ; データなし
ACGIH TLV ;
塩基性炭酸銅 : TWA 1mg/m³ Cu
- 設備対策 : 安全シャワー、洗眼設備、換気設備
- 保護具
- 呼吸用保護具 : 適切な換気
- 手の保護具 : 保護手袋、不浸透性手袋、保護クリーム、耐化学薬品性手袋（ブチルゴム製手袋、ニトリルゴム製手袋）
- 眼、顔面の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡、保護面
- 皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣（長袖）
- 一般的な衛生上の
注意事項 : 本製品を取り扱う際は、飲食や喫煙をしないこと。汚染された衣類や手袋をすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯をし、内側までよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。装置や作業場、作業服は定期的に清掃すること。作業を中断する場合や使用後は直ちに手をよく洗うこと。適切な保護具を着用すること。眼、皮膚、衣類への接触を避けること。

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号: C241899-M00151-36

製品名: 硫化物抑制試薬 PP 100 包入

環境ばく露対策 : 下水系、地面、及びあらゆる水域への流出を防ぐこと。大量に漏出した場合は地方自治体へ通知のこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体 (粉末)
色	: 暗緑色
臭い	: 無臭
分子量	: データなし
融点／凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界／	: データなし
可燃限界	
引火点	: 該当せず
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 8 (5%溶液、20℃)
動粘性率	: 該当せず
溶解度	: 水: わずかに溶解する (>0.1mg/L, 25℃; 77°F) 酸: わずかに溶解する (>0.1mg/L, 25℃; 77°F)
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	: log K _{ow} 約 0
蒸気圧	: 該当せず
密度及び／又は相対密度	: 1.2100
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 酸化剤
化学的安定性	: 火災や爆発の恐れあり、強酸化剤
危険有害反応可能性	: 通常使用下にて特になし。
避けるべき条件	: 熱、火花、裸火、有機物、可燃性物質、炭化水素、強酸、強塩基、強酸化剤
混触危険物質	: 有機物、可燃性物質、炭化水素、強酸、強塩基、強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性／	: データなし
刺激性	
眼に対する重篤な 損傷性／眼刺激性	: データなし
呼吸器感受性	: データなし
又は皮膚感受性	
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: IARC グループ2A (作用因子は恐らくヒト発がん性がある)、OSHA リスト記載あり
生殖毒性	: 混合物の生殖毒性成分濃度により区分2とした。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 混合物の特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 成分濃度により区分1 (血液) とした。

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号: C241899-M00151-36

製品名: 硫化物抑制試薬 PP 100 包入

特定標的臓器毒性 : 混合物の特定標的臓器毒性（反復ばく露）成分濃度により
 （反復ばく露） 区分1（血液）とした。
 誤えん有害性 : データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性 : データなし
 残留性・分解性 : データなし
 生体蓄積性 : データなし
 土壤中の移動性 : 有機炭素/水分分配係数 $\log K_{oc}$ 約 0
 オゾン層への有害性 : データなし

1 3. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
 残余廃棄物 : 環境への流出を防ぐこと。地方自治体の規制及び環境規制に従って処分する。または都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。
 汚染容器・包装 : 容器は再利用しないこと。

1 4. 輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報 : 該当せず
 海上規制情報 : 船舶安全法に従う。
 航空規制情報 : 航空法に従う。
 国連番号 : 1477
 品名（国連輸送名） : 無機硝酸塩類（固体）（他に品名が明示されているものを除く）
 国連分類 : クラス 5.1（酸化性物質）
 容器等級 : II
 緊急時応急措置指針番号 : 140
 輸送の特定の安全対策及び条約 : 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に
 行なう。

国際規制

運輸規制情報

Proper Shipping Name : Nitrate, Inorganic, N.O.S.
 (Potassium Nitrate Mixture)
 Hazard Class : 5.1
 Subsidiary Risk : Not Applicable
 ID Number : UN1477
 Packing Group : II

航空規制情報

Proper Shipping Name : Nitrate, Inorganic, N.O.S.
 (Potassium Nitrate Mixture)
 Hazard Class : 5.1
 Subsidiary Risk : Not Applicable
 ID Number : UN1477
 Packing Group : II

海上規制情報

Proper Shipping Name : Nitrate, Inorganic, N.O.S.
 (Potassium Nitrate Mixture)
 Hazard Class : 5.1
 Subsidiary Risk : Not Applicable
 ID Number : UN1477
 Packing Group : II

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号: C241899-M00151-36

製品名: 硫化物抑制試薬 PP 100 包入

その他の情報

本製品はケミカル・キットの一部として出荷されることがある。ケミカル・キットは以下のとおり分類される。国連分類: クラス 9 (その他の危険物質)、国連番号: 3316

15. 適用法令

化学物質管理促進法 (P R T R)	: 該当せず
労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 3 号別表第 9) 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第 57 条の 2 第 1 項、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 3 号別表第 9) 銅及びその化合物 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 2 号～第 3 号、安衛則第 30 条別表第 2) 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第 57 条の 2 第 1 項、施行令第 18 条の 2 第 2 号～第 3 号、安衛則第 34 条の 2 別表第 2) 硝酸カリウム 危険物・酸化性の物 (施行令別表第 1 第 3 号) 硝酸カリウム
毒物及び劇物取締法	: 該当せず
水質汚濁防止法	: 有害物質 (法第 2 条、施行令第 2 条、排水基準を定める省令第 1 条) アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 指定物質 (法第 2 条第 4 項、施行令第 3 条の 3) 銅及びその化合物
下水道法	: 水質基準物質 (法第 12 条の 2 第 2 項、施行令第 9 条の 4) 銅及びその化合物
航空法	: 酸化性物質類・酸化性物質 (施行規則第 194 条危険物告示別表第 1) 無機硝酸塩類 (固体) (他に品名が明示されているものを除く)
船舶安全法	: 酸化性物質類・酸化性物質 (危規則第 3 条危険物告示別表第 1) 無機硝酸塩類 (固体) (他に品名が明示されているものを除く)

16. その他の情報

引用文献等

- ① Hach Company SDS No. M00151 (Sulfide Inhibitor Reagent Powder Pillows)
- ② 化学物質総合検索システム、(独)製品評価技術基盤機構
- ③ ezCRIC+ 日本ケミカルデータベース(株)
- ④ JIS Z 7252-2019 および Z 7253-2019

記載内容の取扱い

この安全データシートは各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意してください。

また含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の実用を前提としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。

その他

GHS 分類は JIS Z 7252 に基づくものであり、HACH 社の GHS 分類とは異なる場合があります。取扱いの際は、この安全データシートをご参照ください。